

民間金融機関との連携

■民間金融機関との連携を通じ、中小企業者の皆さまを支援しています。

民間金融機関と協調融資、証券化支援などで連携

中小企業事業は、融資・証券化支援・信用保険の多様な機能と長年にわたり培った審査力、全国5.6万先の顧客データベースに基づく情報を活かし、「新事業・スタートアップ支援」「海外展開支援」「事業再生支援」「事業承継支援」「証券化支援」「経営課題の解決支援」の分野で民間金融機関と連携して、中小企業者の皆さまをご支援しています。具体的には、民間金融機関と緊密な情報交換を行い、協調融資での支援、シンジケートローンへの参加、マッチングイベントやセミナーの共催などに取り組んでいます。

特に、平成30年度からは、「新たなステージに向けた民間金融機関連携の取組み」として、民間金融機関との連携に積極的に取り組んでいます。これまでの連携関係のもと、自然災害や物価高等の影響を受けた中小企業者の皆さまへの資金繰り支援を実施しています。

協調融資^(注)の件数・金額実績推移

(単位：先・億円)

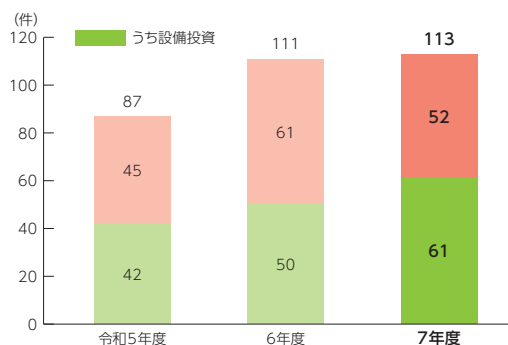
	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
先数	7,698	7,550	6,788	6,343	5,748
金額	8,839	8,822	8,228	8,438	8,245

(注) 同一目的の資金計画に対し、日本公庫と民間金融機関が協議を経たうえで、融資(保証)を実行又は決定したもの(公庫で集計したもの。両者の融資実行・決定時期が異なる場合も含む)。

●シンジケートローンへの参加

中小企業事業は、民間金融機関と連携してシンジケートローンに参加する制度(制度名：「シンジケートローン特別貸付」)の取り扱いを平成30年度から開始しました。令和5年度からは制度を拡充し、新規事業、環境対策、経営改善などに取り組む中小企業者の皆さまの資金調達を支援しています。

シンジケートローン公庫参加件数



●民間金融機関との連携事例

スタートアップの設備投資等を協調ユニットを活用して支援

株式会社Mecaraは、瞳孔に光を当ててメンタル状態を可視化するAI装置「AiLive電子瞳孔計」の研究開発を行うスタートアップです。「AiLive電子瞳孔計」は、AI技術を活用することで瞳孔の動きの反応から自律神経の状態やストレス度合いの可視化を実現し、体調不良等に陥るリスクを早期に把握することで、適切なメンタルケアの提供に繋げるなど人々の「健幸」な生活をサポートするツールです。当社は、東日本大震災等の影響を乗り越えてきた福島の中から、人生を楽しみながら「健幸」に生きられるノウハウや商品、サービスを社会に提供すべく、日々研究開発に取り組んでいます。

かかる中、公益社団法人福島相双復興推進機構からの紹介により、「AiLive電子瞳孔計」の本格販売に向けて資金調達を計画した当社から融資相談を受けた日本公庫は、協調ユニット「はばたき^(注)」を創設した東邦銀行(本店所在地：福島県)と連携しながら、情報交換等をスムーズに進め、協調融資(東邦銀行：運転資金、日本公庫：設備資金)を実行しました。

(注) 新たな事業の創出を目指す起業家支援を目的に令和5年10月に東邦銀行と創設した協調ユニット(協調融資商品)。

